



自然を  
楽しむ  
楽しむ

⑧

「虫こぶの利用」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

カナムグラの葉に出来たピンクの虫こぶです。

“虫こぶ(虫えい)”とは、アブラムシや、タマバエ、タマバチ等の昆虫が寄生して植物の葉に形成されたもので、洋の東西を問わず虫こぶに含まれるタンニンを主に、各種用途に利用して来ました。

日本では、ヌルデの虫こぶ“五倍子”がお歯黒に、西洋ではオークの虫こぶが、筆記用の高耐久性の古代インクの原料として長年愛用されていました。

皆さん、虫こぶは近くで容易に見つかりますよ。